

歯科で始める禁煙支援の勘所

～何を聞き、どのように対応すればいいのでしょうか?～

日本の成人喫煙率が低下する一方、残った喫煙者のニコチン依存は解決されていません。紙巻きタバコの代替品として新型タバコが急速に普及し始めましたが、歯科医療従事者はこのような新タバコ事情を把握した上で、他職種と連携して喫煙者の禁煙支援を実践していく必要があります。本セミナーでは、禁煙支援の位置づけ・役割・喫煙者の判定・対応について、やさしく楽しく解説させていただきます。

1 喫煙者の現状

2 新タバコ事情

(加熱式タバコ、電子タバコ、無煙タバコ、水タバコ)

3 ニコチン依存症、なぜタバコを吸い続けるのでしょうか!?

4 禁煙支援における他職種連携とは

5 喫煙者の判定

6 歯科における禁煙支援の方法

成人喫煙率が低下する一方で、加熱式タバコが急速に普及し始めています。加熱式タバコや電子タバコを含めた新型タバコは、紙巻きタバコに比べるとニコチン以外の主要な有害物質の曝露量を減らせると言われていますが、病気のリスクが減るかどうかについては明らかではありません。ニコチンの曝露や吸収動態は紙巻きタバコと類似しており、ニコチン依存症が継続して使用中止がより困難になります。歯科医療従事者は、このような新タバコ事情を把握した上で、他職種と連携して喫煙者の禁煙支援を実践していく必要があると考えます。



講師 稲垣 幸司先生

【肩書】 ●愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 教授 ●愛知学院大学歯学部歯周病学講座 兼任教授 ●特定非営利活動法人日本歯周病学会常任理事(健康サポート委員会委員長) ●愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター所長 ●歯周病専門医、日本禁煙学会専門医 ●子どもをタバコから守る会・愛知 世話人代表 ●禁煙心理学研究会 世話人、日本小児禁煙研究会 理事
【経歴】 ●1986年3月 愛知学院大学大学院歯学研究科修了(歯科保存学専攻) ●2000年10月～2001年9月 愛知学院大学在外研究員(ボストン大学歯学部健康政策・健康事業研究講座) ●2005年5月 愛知学院大学歯学部准教授(歯周病学講座) ●2007年4月～愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科教授

1 point JAOS認定第一種、第二種歯科感染管理者の方は継続ポイント1ポイントが付与されます。

開催日程 2022年
6月12日(日) 9:30～12:00

受講形式 Zoomのライブ配信によるオンラインセミナー
配信場所: 愛知学院大学内教室より
推奨視聴環境: PCまたはモバイル

参加対象 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、その他、及び
JAOS認定第二種歯科感染管理者
※JAOS認定第一種、第二種歯科感染管理者の方は継続ポイント1ポイントが付与されます。

受講費用 ドクター **¥8,800(税込)**
一般 **¥5,500(税込)**
定員 **80名様** (定員になり次第締め切り)

お申し込みは **Webサイト** から
クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー
決済(簡単銀行振込)がご利用いただけます。
右のQRコードよりアクセスしてください。
※申込サイトが[Peatix]になりました!
初回申込時にユーザー登録が必要となります。



主催

Medicom® A.R.メディコム・インク・アジア・リミテッド
【デンタル事業部】
〒650-0023 神戸市中央区栄町通1丁目2-10 読売神戸ビル9F
✉ m-mori@medicom-japan.com

後援

JAOS NPO法人
日本・アジア口腔保健支援機構
〒245-0061 神奈川県横浜市戸塚区汲沢1-10-46
✉ infection.c@npo-jaos.org